

第9次豊田市総合計画への各種意見・提案

1 「(仮) ミライ構想のめざす姿」について

項目：「つながり」を通じ、多様な価値や可能性を創出するまち

意見・提案	理由・背景
1. 「次代を担う子どもたちに継承」を「次代を担う世代に継承」に変更するのはどうか。	多様な資源を維持・継承するには、世代それぞれに係わり方が異なるため。例えば、芸能文化の面では、子どもに教え、指導者世代にはその指導技術を教え、熟年世代が総体的に眺めていくなど、それぞれの世代ごとに係わり方が違ってくる。
2. 「多様な「人と人」「人と地域、自然」を「人と人」「人と地域、自然」に変更するのはどうか。	冒頭で「豊田市の多様な地域の資源」としているため。
3. 「豊田市の多様な地域の資源を」を「豊田市の多様な地域の伝統と資源を」に変更するのはどうか。	伝統も子どもたちに継承すべきだと考えるため。

2 「(仮) ミライ構想のまちづくりの基本的な考え方」について

項目：発想の転換

意見・提案	理由・背景
4. 支所を中心に分散型のまちづくりを推進して欲しい。	支所の場所が不便・手狭いため、四郷駅付近に移転して拠点づくりをする。
5. 『つながり・関係性の拡がり・深まり』重視への中に「思いやり」というワードが入るべきではないかと考えます。	現代はいろいろ便利になってきています。しかし、行政だけではありませんが、杓子定規にあてはめられ、困惑する弱者がたくさんいると思うため。
6. 地域住民で子ども・高齢者・障がい者を守る事ができる人を育てるまちづくりを推進して欲しい。	地域が一体となり、子ども・高齢者・障がい者を守ることができる人に溢れたまちが大切だと考えるため。

3 「都市構造」について

項目：都市構造の実現に向けた方針

意見・提案	理由・背景
7. 市街化推進して欲しい。	現状、土地が有っても許可がおりず、みよしや岡崎へ転出しているなど、人口減少の歯止めがかかっていないため。
8. 免許証返納者や体力の衰えが著しい人を対象にした自由に動いてくるバス或いはタクシーなどの公共交通機関の充実を図って欲しい。	地区によっては地内に医者や商業施設が無く車が必須アイテムになっています（バスは体力に余裕がある人の乗り物）。免許証返納者や体力の衰えが著しい人でも通院、買い物、役所手続きなど日常で人とのつながりが出来ることが健康維持に役立つと考えるため。また、高齢者の免許返納が進まず、ブレーキとアクセルの踏み間違い事故が多発しているため。
9. 産業 「インターチェンジ周辺等、利便性の高い地域」を「インターチェンジ周辺を始めとした利便性の高い地域」に変更するのはどうか。	インターチェンジ周辺が強調されすぎではないかと思うため。
10. 自然 「森林・里山等の環境保全」を「森林・里山・水辺等の環境保全」に変更するのはどうか。（水辺＝河川・ため池等を指す）	後段で「農林漁業振興」と漁業が出てくるので、内水面漁業を行う河川を含む表現としてもいいのではと思ったため。
11. (仮) 「えきちか移住誘導エリア」の設定とリンクして、(仮) 「トータルライフサポートセンター」なる「生活支援の総合デパート」的な「館」併設を構想の中に組み、より骨太なものにして欲しい。	市民生活に潤いを与え「住みやすく」・「住み続けたい」を向上させる事をポイントに「幸福寿命を全うできるまち」・「子育て世代に選ばれるまち」をより具現化する必要があるため。
12. 中心部まで出向かなくても買い物、病院等生活に必要なものが手に入る環境づくりを推進して欲しい。	今後、高齢化がより進み、買い物や病院に出向くのが困難になる人が増加していく。そこで、移動販売車や訪問医療の拡大が必要だと思うため。
13. 国で方向性を検討中ではあるが、ライドシェアの導入を検討して欲しい。	年配者でも運転ができる人が多いため、仕事の機会を増やすことができると思うため。